

# R3八代地域飼料用米栽培ごよみ

熊本県南広域本部  
農業普及振興課  
八代市農業再生協議会  
JAやつしろ  
令和3年3月作成

( 飼料用米の収穫後にわら取りを行う場合は使用農薬が制限されますのでWCS及びわら用稲栽培ごよみに従って栽培してください )

## 栽培上の留意点

1. 作型にあった専用品種を選び適期移植を行いましょう。
2. 多収を目指すため多肥栽培を行いましょう。
3. 捨てづくりは厳禁です。適切な栽培管理を行いましょう。
4. 主食用米への混入に十分注意しましょう。

## 品種の選定

移植の遅れは収量・品質の低下の原因になります。移植時期は守りましょう。

作型	移植時期	品種	出穂期	収穫期
早期	5月中旬まで	夢あおば	8月上旬	9月上旬
普通期	6月20日まで	モミロマン、夢あおば	9月上～中旬	11月上～中旬
晩期 (たばこ・いぐさ跡)	7月25日まで	夢あおば	//	//

## 施肥設計

ほ場条件により異なりますが、10a当たり窒素成分で10kg程度を目安に施用しましょう。  
※夢あおばの早期、普通期栽培については、分けつ肥を施用しましょう。

作型	基肥	分けつ肥	穂肥
早期	すご稲R2753(F) (27-5-3) 40kg/10a	・夢あおば：硫安10kg ・その他品種：-	-
普通期	多収米ひとふり(25-6-6) 40kg/10a	・夢あおば：硫安10kg ・その他品種：-	-
晩期	PK化成40号 40kg/10a	-	フレッシュ454 20kg/10a

※基肥は前作や地力に応じて施肥量を調整する

## 防除

収量・品質の向上を図るとともに周囲のほ場への影響を考慮して適切な防除を行いましょう。  
ただし、籾出荷の場合は出穂後の防除は指定された農薬を使用してください。  
(玄米出荷の場合は主食用米とおなじ農薬が使用できます。)

## 出荷基準

出荷容器	フレコンバック
玄米出荷	量目設定 600kg(正味) 入目500g《皆掛重量605kg》
	調整条件 ・くず米を含め全量出荷の為、ふるい目は設定しない。 ・水分14% ・異物、異種穀粒混入限度はうるち玄米3等基準。

生育ステージ	3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月				
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
早期	5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月								
普通期	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
晩期	6月		7月		8月		9月		10月		11月										
生育ステージ	播種		移植		分けつ期		幼穂形成期		出穂期		乳熟～登熟期		収穫期								
防除	<b>(玄米出荷) 主食用米防除基準に準じ防除を行う。</b>		箱剤		除草剤		※てむびく除さいにより薬害が生じるので注意し シモクミロマン及びビスホチカラはベンソ ーリン剤を避けよう。		防除		防除		病害虫の発生状況に合わせて 防除を行いましょう。								
			フピサ エルダ テラフ ゼクサ ロン剤	ヘナワ クイン サスオ ールシ ルフッ アトシ ルヤン ボ	ノン プラ スト レバ リダ 粉D L剤 など	(籾米出荷) フシワ ン+M Rシ ョー カー EW (厳 守)			(玄米出荷) ビ ーム ア プ ロ ード ス ター クル 粉5 D L な ど												
注) ジャンボ剤についてはイグサ後など残渣が多いほ場では拡散性が劣りますので使用を避けて下さい。																					

※農薬の使用に関しては、必ず商品のラベルを確認し、その内容を遵守してください。